

生徒会活動の活性化による「自分たちでつくる学校」へ向けての支援

～生徒会活動の「見える化」や「上中行動宣言」を通して～

1. 設定理由

「自治的活動」を進めていくために、「見える化」を行い、生徒が前に出て活躍する場を増やせば、一人ひとりの頑張りを教職員や仲間が認める機会が増え、生徒が意欲的に活動するようになるだろうと考えた。

また、本校では、情報機器利用は増加傾向にあるが、生徒は適切な情報機器利用ができているとは言いがたい。そこで、少しでも有効な手立てを講じるために、盛り上がってきた生徒会活動を利用し、生徒自身に情報機器の利用について考えさせたいと思った。

話し合いが理想論で終わらないように「自分たちが実現可能な」ラインにこだわり、一人ひとりが自分たちの生活に対して意見を言い合い、それが全体としての大きな流れにつながり「自分たちでつくる学校」を実感するような支援をしたいと考え、本研究の主題を設定した。

2. 研究仮説

- (1) 生徒会活動の「見える化」を進めれば、生徒が活躍する場面が増え、生徒会活動に意欲的にとりくむようになるだろう。
- (2) 一人ひとりが主体的に集団に関わる活動を行えば、「自治的活動」に対する理解が深まり、自分たちで学校生活をつくっていかうとするようになるだろう。

3. 研究内容

- (1) 生徒会活動の「見える化」
- (2) 一人ひとりが主体的に関わる活動（上中行動宣言）

4. 結論

○自ら行動する生徒の育成に向けて意識付けすることができた。

○先生方のアイデアのもと、年々生徒会活動の見直しを行っており、生徒が自主的に活動するという意識が高まっている。特に、リーダー層の意識の高まりが見られる。

○「上志津行動宣言」を生徒総会で採択し、各学級に掲示し、全校生徒が意識しながら生活している。

○情報モラルに関して、ルールをつくる家庭が増加している。

1. 研究主題

生徒会活動の活性化による「自分たちでつくる学校」へ向けての支援
～生徒会活動の「見える化」や「上中行動宣言」を通して～

2. 設定理由

(1) 学習指導要領から

本研究は、中学校学習指導要領特別活動【生徒会活動】に基づいて設定した。

【生徒会活動】

1 目標

生徒会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団や社会の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

2 内容

学校の全生徒をもって組織する生徒会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行うこと。

(1) 生徒会の計画や運営

ア 学校生活における規律とよき校風の確立のための活動

規律は、一見拘束的なもののように受け取られやすいが、充実した集団生活を営むためにこそ必要なものである。だからこそ、規律は生徒自身でその意味を考えることが大切であり、一人ひとりがそこに関わっていくことが大切であると考えた。

(2) 生徒の実態から

ア 生徒会活動の「見える化」について

数年前の本校生徒の生徒会活動に対するとりくみは、言われたことはしっかり行うが、それは、「先生からお願いされたことをしっかり行う」という感覚の生徒が多かったように思う。いわば、「生徒委員会が先生の下請け機関」のように機能しているような状態であった。しかし、それは本来の「自治的活動」と言えるであろうか。生徒会活動を本来めざすべき「自治的活動」に向かわせるためにも、生徒指導担当、生徒会顧問、その他の教職員が協力し、生徒自身で学校をつくる「自治的活動」を進めていく必要があった。

そのために、まずは生徒に自信をもたせることを考え、生徒会活動（委員会活動）の「見える化」を進めた。「見える化」により、生徒が前に出て活躍する場を増やせば、一人ひとりの頑張りを教職員や仲間が認める機会が増える。その雰囲気の中で生徒会活動が盛り上がっていけば、生徒会活動に対するモチベーションが高まり、意欲的に活動するようになるだろうと考えた。

しかし、ただ活動すれば良い訳ではなく、レベルの高い自治的活動にするためには教職員の関わり方が大切である。はじめは、教職員主導でたくさんの「引き出し」を与えるために、「指示・指導」を丁寧に行った。やがて様々な生徒会活動が軌道にのってきたことで、生徒自身が

運営することを大切に、「助言・サポート」を意識して増やしていった。

生徒が自主的に活動する文化が少しずつ定着し始めた今、更に生徒のプライドをくすぐり続け、「自分たちで学校生活をつくっていこう」という気持ちを高められるように支援を工夫していきたいと考える。

イ 「上中行動宣言」について

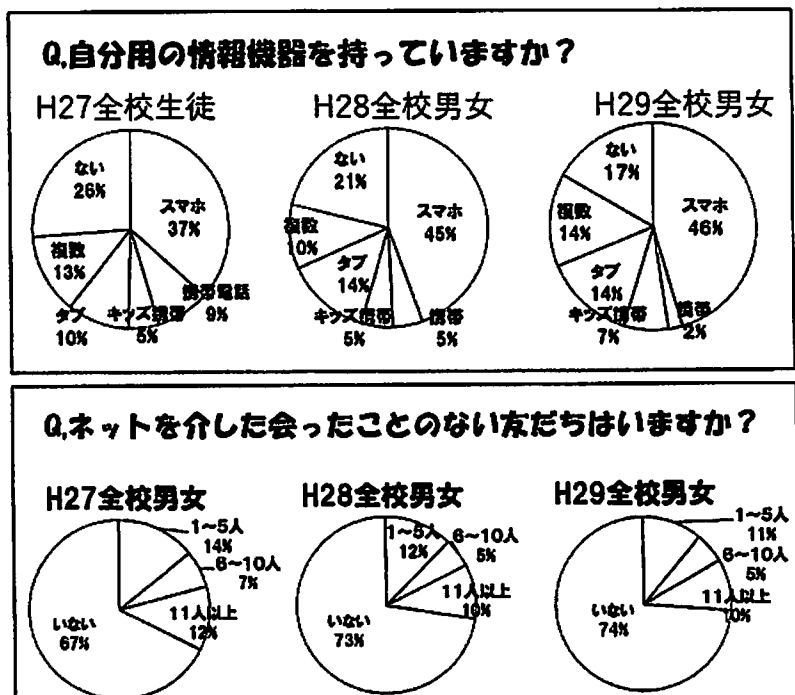
近年、ネット関係のトラブル増加は社会問題にもなっている。本校では、毎年生徒のデータをとりながら実態を考察し、その上で情報モラル等の指導を、学期に1回ごとに行ってきた。しかし、生徒のネット関係のトラブルは大きく減っていているようには思えない。子どもの知識や技術と、保護者や教職員と言ったおとなの理解の乖離も大きく、おとなが知らないところで、更に多くのトラブルが起きていることも考えられた。

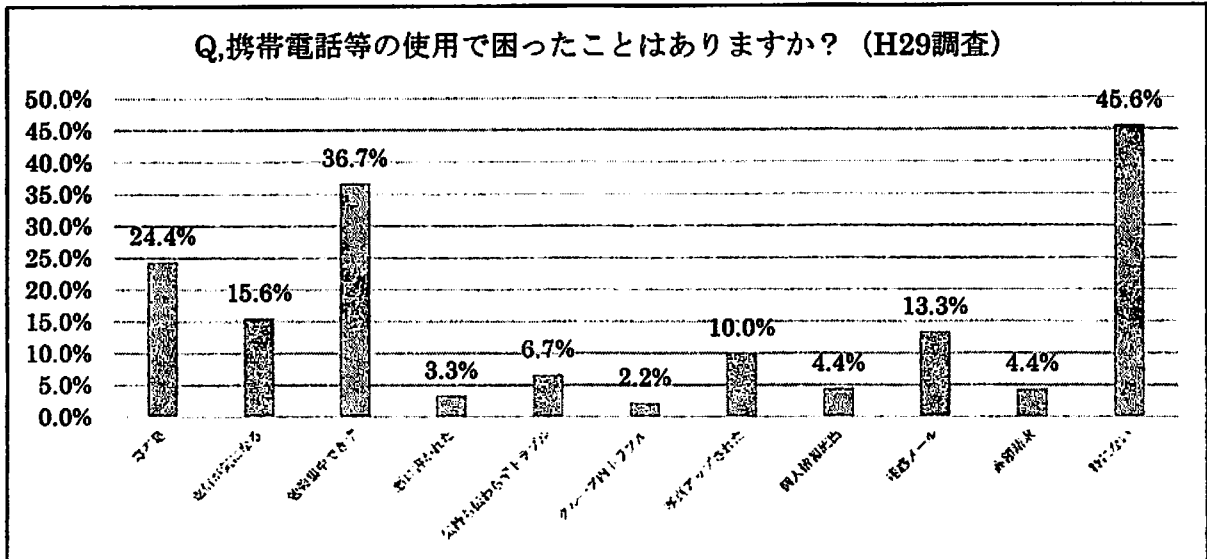
もちろん学校だけでできることではないが、少しでも効果のある指導をしていかないといけないという思いが常にあり、盛り上がってきた生徒会活動を利用し、子どもたち自身に考えさせていきたいと考えた。

生徒会活動の中で行うことに意味を持たせるなら、ただこちらから教えるだけではなく、生徒一人ひとりが考える機会をつくっていくことが大切である。また、お題目になってしまう理想論ではなく、「自分たちが実現可能な」というラインにこだわることに意味があると考えた。そこで、各学級の少人数のグループごとに話し合いを行い、アイデアを出し合っていく学習を行った。一人ひとりが自分たちの生活に対して意見を言い合い、それが全体としての大きな流れにつながっていくことが理想であった。

ウ 情報関係 H29 アンケートから（資料編 P1～4 参照）

5年前から、毎年情報機器に関する実態を調査しているが、ここ3年間も情報機器利用は増加傾向にあり、ついに何らかの情報機器を持っている生徒が80%をこえた。ほとんどの生徒がお手軽にネットにアクセスできる環境にあり、特に「スマホ」の増加が見られる。また、驚くべきことだが、全校生徒の3割弱が「会ったことのない友だちがいる」と回答している。特に3年女子は、35%が「いる」と回答している。





また、携帯電話等の利用で困ったことはありますか？という質問には、54.4%の生徒が何らかの形で「ある」と回答している。特に多かったのが、「ついじってしまい勉強に集中できなくなってしまう」であり36.7%であった。

このような状況を見ると、これから更に情報機器利用が増えると考えられるが、生徒は適切な情報機器利用ができているとは言いがたい。特効薬があるとは思えないが、少しでも有効な手立てを講じていきたいと考えた。

3. 研究仮説

- (1) 生徒会活動の「見える化」を進めれば、生徒が活躍する場面が増え、生徒会活動に意欲的にとりくむようになるだろう。
- (2) 一人ひとりが主体的に集団に関わる活動を行えば、「自治的活動」に対する理解が深まり、自分たちで学校生活をつくっていかうとするようになるだろう。

4. 研究内容

(1) 生徒会活動の「見える化」

生徒会活動を活性化するためには、生徒会活動に対する充実感や達成感を感じさせることが大切である。そこで、生徒会活動を教職員が褒めたり、先輩が活躍する姿に後輩が憧れたりする機会を増やすために、生徒会活動を「見える化」し、全校生徒が意識できるような支援をしていった。

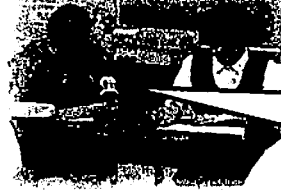
A. 生徒会活動の意識付け

① リーダー層の意識付け（腕章の使用）

生徒会活動を盛り上げるには、まずリーダー層の育成を考えた。生徒会執行部、各生徒委員会委員長等が自覚を持って活動できるように、生徒会活動時、それぞれの肩書きを描いた腕章を付けて活動している。



生徒委員会にて。生活委員長です。



全校評議会にて。生徒会執行部です。

② リーダー層の意識付け（原稿を見ないで話す意識）
 様々な場面で、前に立って話をする生徒は、原稿やメモを見ないで話をさせる経験を積ませた。

学年集会
 にて評議員
 からの話。

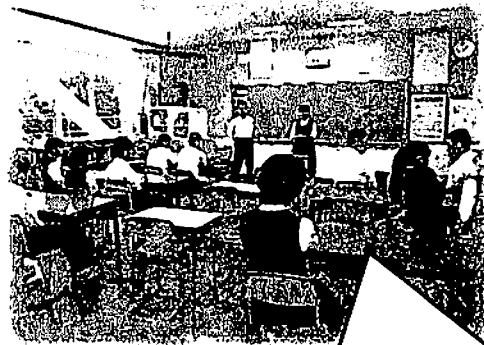


③ リーダー層の意識付け（自分たちからの提案というスタイル）

生徒委員会では、先生が内容を指示するのではなく、あくまでも、「自分たちで内容を考えて先生に相談をする」という形を大切にしている。常時活動だけではなく、問題が起きた時に、生徒から「委員会で何とかして解決したい」というような提案もあった。例えば、トイレのイタズラが続いた時には、トイレのクレンザーを管理している健康委員会から、「トイレの見回りをしたい」との提案があり、トイレのチェック活動を行った。



生徒が相談しに来ています。偉そうに教員が指示をしている訳ではありません（笑）。



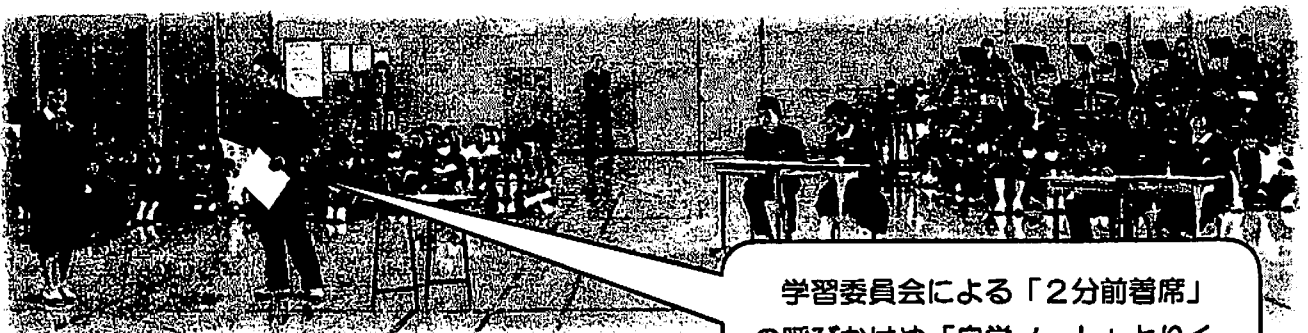
生活委員長が「服装のことで全校に連絡したい。代表委員を集めたい。」と言うので、教員もその場に向かいますが、様子を後ろで見っていました。

B. 各生徒委員会の活動（集会での発表、縦割り活動等々）

① 新入生歓迎会での発表

全校生徒が集まる新入生歓迎会は、生徒会活動「見える化」の大きなチャンスである。特に、新入生に対し、生徒会活動に一生懸命とりくむ先輩方が「カッコいい」と憧れを抱かせる大きなチャンスでもある。

先生方のアイデアと、先輩方の積み重ねにより、3年生の代表委員を中心に、各委員会で工夫を凝らした発表が毎年行われている。

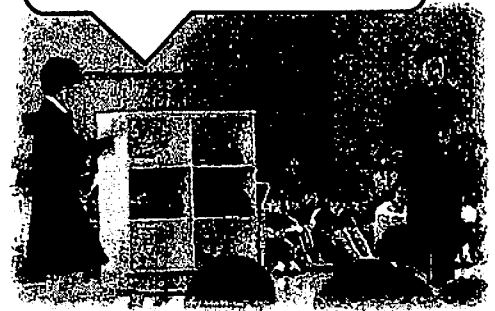


学習委員会による「2分前着席」の呼びかけや「自学ノート」とりくみについての実演や説明。

歌声委員会からは日々の「発声練習」の実演や校歌の披露。



環境委員会からはロッカー整頓の説明&実演。



健康委員会からは白衣の正しい着方の説明&実演。



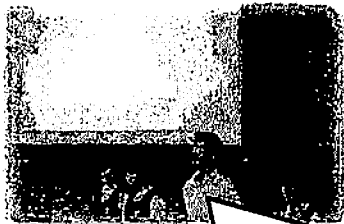
生活委員会からは制服やジャージの正しい着方の説明&実演。



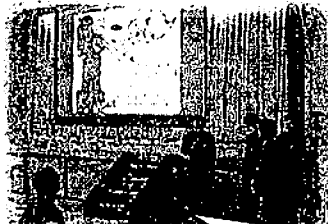
② 全校集会での発表の様子（資料編 P5～6 参照）

本校では生徒集会は設定されていない。そこで、月1回行われる全校集会内で、「生徒会から」を設定し、そこで各生徒委員会からの話をしている。

話の中では、パワーポイントによるスライドの利用も増えている。スライドを利用することにより、生徒も良く話を聞くようになり、また、全体の前で話をする生徒も、意欲的にとりくむようになっている。



学習委員。自学ノートキャンペーンの報告。



生活委員。冬服の着こなし方のすすめ。



健康委員。朝食について。

③ 縦割り等、その他活動

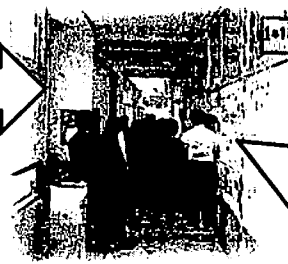
定期的にキャンペーンを行ったり、縦割り活動を行ったりしている。また、キャンペーン等の活動を行った後は、全校集会で報告を行う等、全校生徒に対しての振り返りも行っている。

・生活委員&学習委員 → 2分前着席キャンペーン

廊下にはたくさんの生徒がいます。



生活&学習委員の呼びかけで教室にみんな入っていきました。



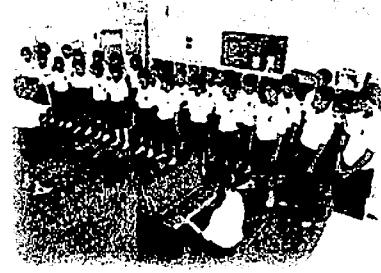
1年生の給食準備が遅いという話が出てきた時に、健康委員の3年生から「1年生を助けに行こう」という声があがり、1年生の給食準備のヘルプに行った。

・歌声委員 → 歌声交流会

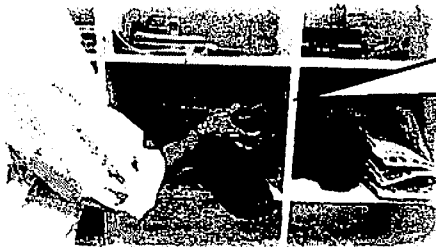
年間を通して、学年&学級をこえた歌声交流会を行っている。特に、音楽発表会の前には3年生と下の学年との交流が盛んに行われている。各学級の歌声委員が、交流をしたい学級にお願いに行き、歌声委員どうして調整を行う。会は、全て歌声委員のしきりで行う。3年生の合唱を聴いて、下学年は良い刺激を受けている。



交流会は歌声委員の仕切りで行います。



・環境 → 清掃の仕方（縦割り）、ロッカー整理



ロッカー内が乱れてきたのを受けて、3年生が縦割りの教室に出向き、整理整頓の確認と実演を行っています。

(2) 一人ひとりが主体的に関わる活動（上中行動宣言）

情報モラル教育の一環として、情報機器の使用について生徒一人ひとりが考え、話し合い活動を行った。最終的に、各班ごとに「実現可能な」行動宣言をつくった。

「行動宣言」は、お題目になってしまう理想論ではなく、自分たちが「実現可能な行動宣言」にこだわりつくるようにした。

<流れ>

H28.11 学級ごとの話し合い（資料編 P8～11 参照）

12 生徒会執行部での宣言まとめスタート（資料編 P12～13 参照）

H29. 1 執行部による宣言（仮）決定（資料編 P12～13 参照）

2 パブリックコメント開始（資料編 P14 参照）

新入生保護者説明会で会長から保護者に説明（資料編 P7 参照）

行動宣言の練り直し開始

3 全校評議会で説明

4 行動宣言決定

5 生徒総会にて採択 各学級で掲示、保護者にお知らせ（資料編 P15 参照）

H28.11 学級ごとの話し合い。スマホ等の「良い点」「悪い点」について付箋を利用して意見を出し合い、そこから発生する問題点と、その対策について話し合った。その後、それぞれの班で「自分たちが実現可能な行動宣言」をつくっていった。

<話し合いの様子> (資料編 P8~10 参照)



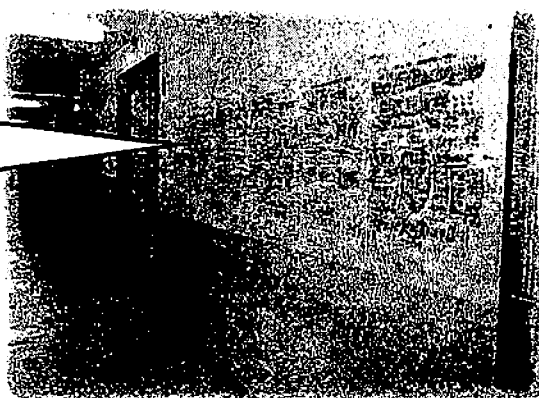
付箋を使って意見を出し合っています。



班の意見を学級全体でシェアするための発表です。



その後、話し合いで使った様子は、学年ごとに廊下掲示として保護者にも見てもらいました。



<実際に生徒が決めた宣言> (資料編 P11 参照)

<使用時間系>

- ・夜10時以降スマホをさわらないようにします。
- ・時間を決めて、使いすぎないようにします。
- ・時間を決めて、勉強中はいじらないようにします。
- ・使う時間を制限します。 etc...

<意識しよう系>

- ・はじめをつけて使う。
- ・優先順位を考えてスマホを使います。
- ・情報リテラシーを身に付ける。
- ・自分や相手のことを考えて正しく使う。 etc...

<使用目的系>

- ・(受験生なので) 勉強以外のことに使用しないようにします。
- ・必要なこと以外使わないようにします。 etc...

その他は資料編へ。

その他 ルールをつくろう系 勉強頑張ろう系 トラブル回避系 複数組み合わせ

＜その後のとりくみ＞（資料編 P12～14 参照）

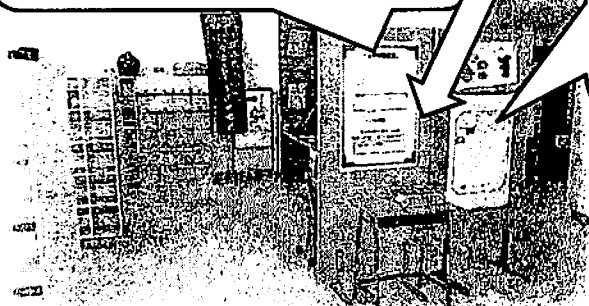
生徒会担当職員から執行部に対して、「せっかくだから宣言を自分たちのものとしてまとめるのもありだよ」とアドバイスしたところ、「ぜひやってみたい」との話になった。

そして、できあがったのが、最初の「上中行動宣言（案）」である。

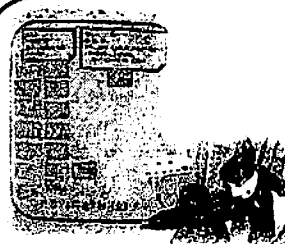
いじめとの関わりが強い感じです。執行部には、項目が多すぎると守れなかったり、目的がぼやけたりするかもとアドバイスを送ったため、項目は一つになっています。

自分の考えで決めつけずに相手の気持ちを考えて使用します！

執行部がまとめた「宣言」を張り出し、全校生徒にパブリックコメントを求めました。



賛成 or 反対ともに、様々な意見がよせられました。



パブリックコメントを受けて再び話し合いました。

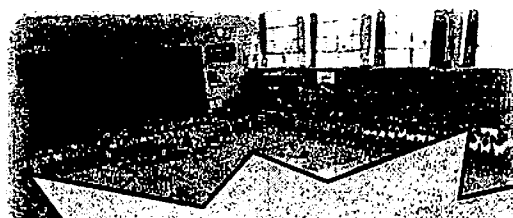


＜生徒総会にて＞

より良い学校生活をおくるために、「上中行動宣言」を提案します。



全校生徒による賛成拍手
多数により可決！



＜上中行動宣言＞

そして行動宣言が生徒総会において採択された。この行動宣言は、前回案に対するパブリックコメントを受けて、「せっかく意見をくれた人の気持ちを反映させたい」「一つだけではみんなの意見を反映できないのではないか」ということから3つになっていった。

また、ただ縛るだけではなく、「広い心で見ます」と前向きな行動の方向付けを規律としていこうとする宣言となった。更に「表情を見て会話をします」と、日常生活で大切なことにも言及したことに大きな意味があると考えられる。

上中行動宣言

皆さんが使っているインターネットはとても便利です。しかし、使いすぎると、相手の気持ちを考えずに自分勝手に使ってしまうます。そこで、そのようなことがないように次のことを宣言します。

一、私たちは「広い心」で見ます。

文だけで判断せず相手の言動に腹を立てず、インターネットやSNS等の内容に対して、軽い気持ちで受け止めます。

二、私たちは「時間を決めて」使います。

スマートフォン・インターネットを使うときは自分で時間を決めて使います。

三、私たちは「表情を見て会話をすること」を大切にします。

スマートフォンでのコミュニケーションだけでなく、相手と直接話している時間も大切にします。

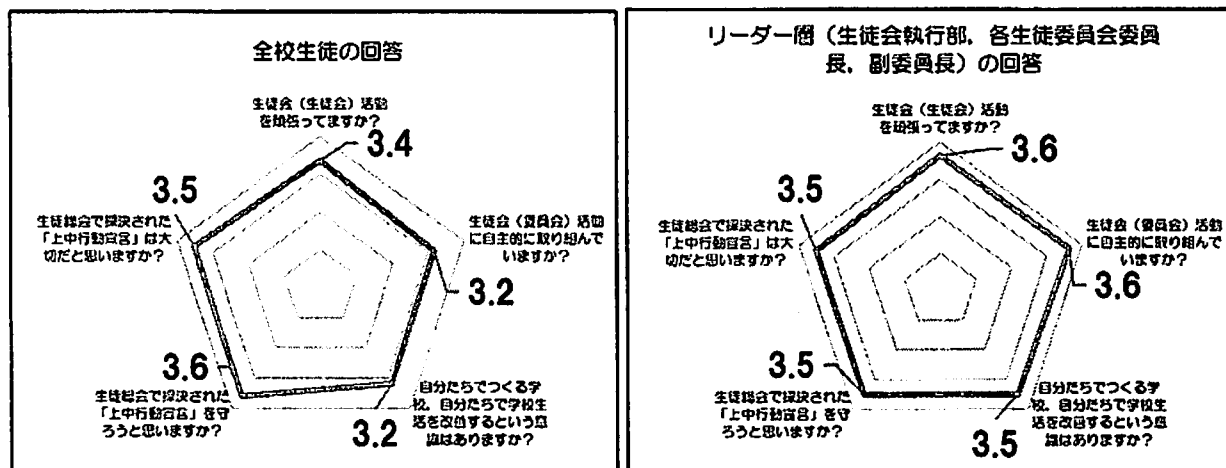
現代の世の中は、インターネットやSNS等でのいじめなどが広がっています。これはとてもよくないことです。この状況を少しでも改善するために、インターネットやスマートフォンをこの宣言のように使うことを誓います。

平成二十九年 五月十七日

佐倉市立上志津中学校生徒会本部

5. 成果と課題

<生徒会活動に関するアンケートから（資料編 P16 参照）>



アンケートは、全校生徒の集計と、生徒会活動のリーダー層（生徒会執行部、各生徒委員会委員長、各生徒委員会副委員長）だけを抽出したものの2つの集計を行った。

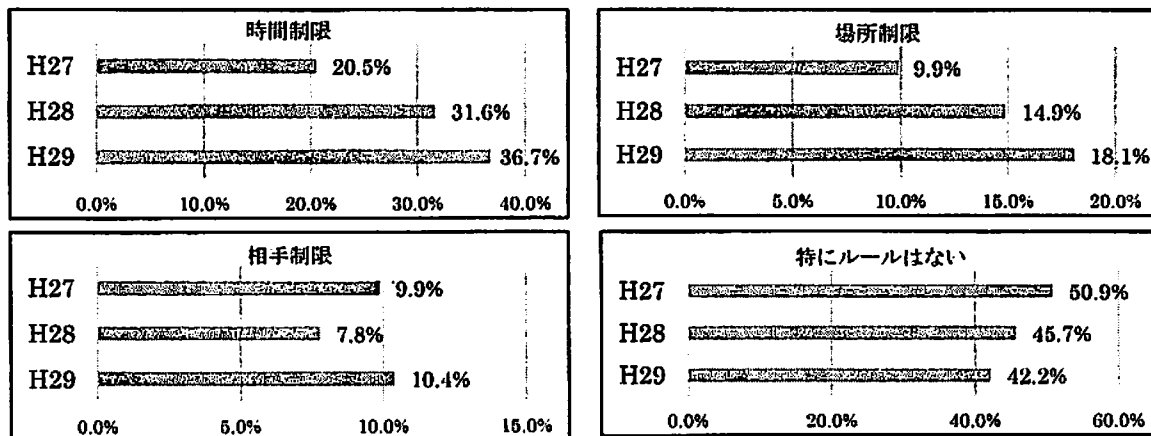
リーダー層は、全般的に高い数値になっている。特に、「自主的に取り組んでいますか？」と「自分たちでつくる～」に関しては、それぞれ全校平均と比べて0.3～0.4ポイントの差が見られた。しかし、「上中行動宣言」がらみになるとその差がほとんどなく、「守ろうと思いますか？」に至っては、全校平均のほうが0.1ポイント高い結果となった。

これらの結果からは、生徒会活動に対するリーダー層の意識の高まりが感じられる。

「上中行動宣言」に関しては、リーダー層だけよりも全校平均で高い数値が出ていることを考えると、一人ひとりが意見を出し合うところからスタートし、話し合いを進めていったことにより、リーダー層以外の意識も大きく高まったと考えられる。

<情報関係 H27～29アンケートから>

Q、家庭でのルールやきまりはありますか？



この3年間の様子を見ると、「特にルールはない」と回答した数が減っている。つまり、何らかのルールを設定する家庭が増加している様子が見られる。具体的には、「時間制限」が最も多く、H29は36.7%の生徒が回答している。年々、生徒や保護者の意識が向上している実態が考えられる。

<成果>

- 生徒会活動の「見える化」を進めたことにより、自ら行動する生徒の育成に向けて意識付けすることができた。
- 先生方のアイデアのもと、年々生徒会活動の見直しを行っており、生徒が自主的に活動するという意識が高まっている。特に、リーダー層の意識の高まりが見られる。
- 「上中行動宣言」を生徒総会で採択し、各学級に掲示し、全校生徒が意識しながら生活している。
- 情報モラルに関して、ルールをつくる家庭が増加した。
- 教員からの投げかけではなく、生徒会執行部からの投げかけによって一般生徒に染み渡ることを感じられた。

<課題>

- ▲宣言をお題目にせず、実際に守っていけるような支援が必要である。
- ▲「行動宣言」はこちらがやらせた訳ではなく、あくまでも「生徒の自主的な活動」として保護者へも発信していきたい。入学式後や PTA 総会等、多くの保護者が集まる機会に、生徒会長から保護者へ向けて、宣言への協力をお願いできると良い。
- ▲生徒会活動活性化のための時間の確保が難しい。(特に部活動の時間が削られてしまう。)
- ▲担当教員が変わる時の引き継ぎが心配。教員がどこまで支えられるかがポイントになる。

資料編

<情報関係 H29 アンケートから>

- 情報関係 H29 アンケート …… P1~2
- 情報関係 H29 アンケート結果から …… P3~4

<全校集会での発表内容例>

- 生活委員会 冬場の服装について …… P5
- 生活委員会 「あいさつ」について …… P5
- 学習委員会 自学ノートキャンペーンについて …… P6

<生徒の自主的な活動の高まり>

- 会長から保護者へ、全校評議会、御興集会、部長会 …… P7

<行動宣言話し合い関係>

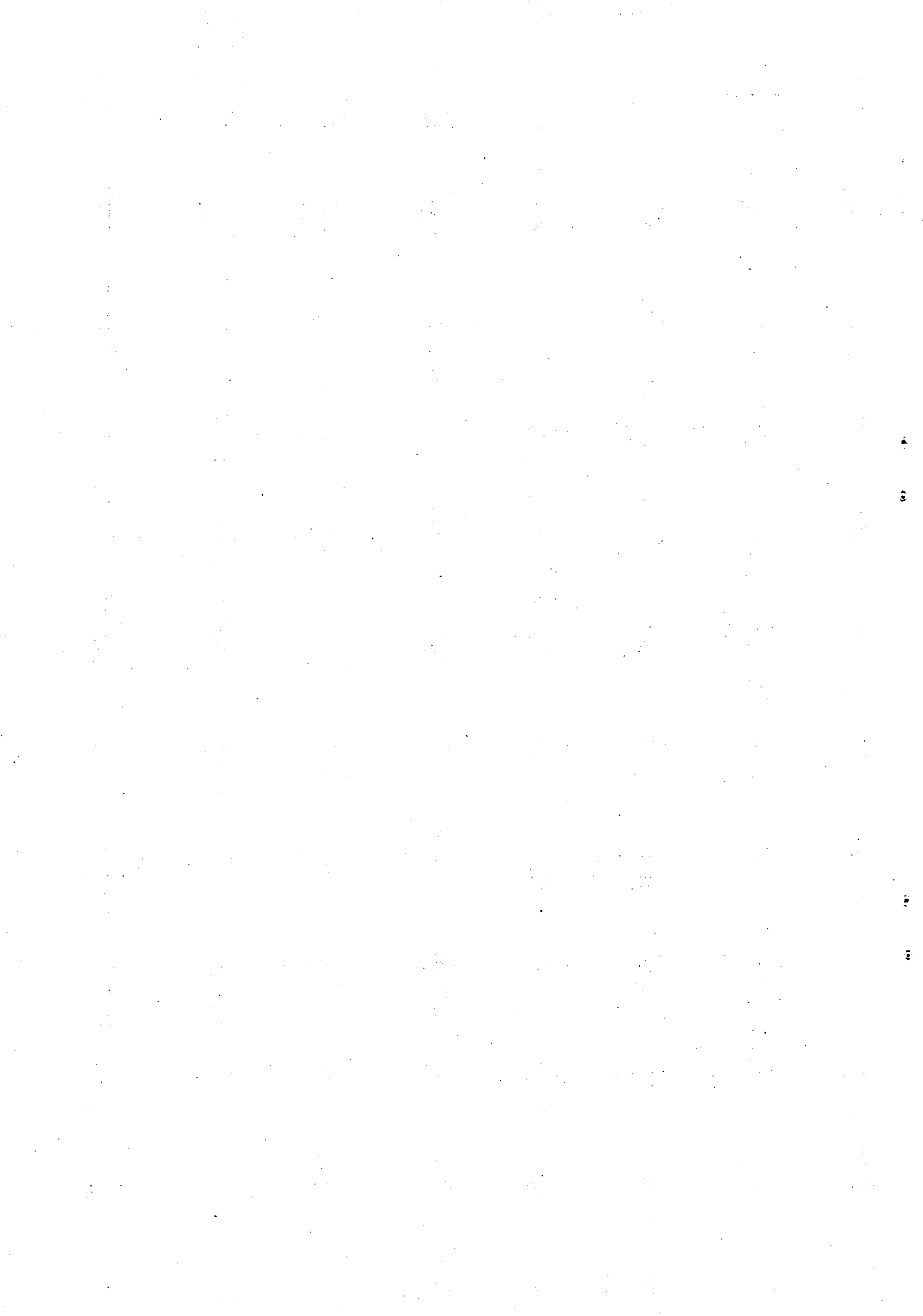
- 授業の指導案 …… P8~10
- 話し合い用模造紙 …… P10
- 各班で決めた「行動宣言」 …… P11
- 生徒会執行部と生徒会担当教員のやりとり …… P12~13
- パブリックコメント関係 …… P14

<上中行動宣言採択後>

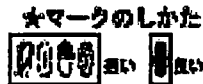
- 教室掲示 …… P15
- 生徒指導だよりでのお知らせ …… P15

<生徒会活動に関するアンケート結果>

…… P16



○情報関係 H29 アンケート



携帯電話・スマートフォン等についてのアンケート

ケータイ電話やスマートフォンに関する調査です。ご協力をお願いします。

選択式の回答は、該当箇所のマーク○を塗りつぶしてご回答ください。

○ 空白マーク ● 正しい塗りつぶし ☒ 不正な塗りつぶし

記述式の回答は、回答欄からはみ出さないように記入してください。

この用紙は機械で処理します。回答欄以外に書き込みをしたり、用紙を汚したり、折り目を付けたりしないように注意してください。

上志摩中学校 () 年 () 組 () 番 氏名 ()

(1) 【ひとつだけ選んで下さい】 あなたの学年は？

- 1年1組 1年2組 1年3組 2年1組 2年2組 2年3組
 3年1組 3年2組 3年3組

(2) 【ひとつだけ選んで下さい】 あなたの性別は？

- 男子 女子

(3) 【ひとつだけ選んで下さい】 出席番号は？

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

(4) 【ひとつだけ選んで下さい】 あなたは、自分用の携帯電話・スマートフォン等を持っていますか？

- スマートフォンをもっている 携帯電話をもっている キッズ携帯（ネット制限あり）をもっている
 タブレットをもっている 前述の複数をもっている いずれももっていない

(5) 【複数選択OKです】 あなたが、スマホや携帯電話等で利用しているものを教えて下さい。

- 電話機能による通話 メール等でのやりとり インターネットでの閲覧 動画投稿サイトの視聴
べ物
 動画投稿サイトへの投稿 ネットでの買い物 アプリの活用 LINEの活用（SNS）
 ツイッターの活用（SNS） インスタグラムの活用 フェイスブックの活用 その他のSNSの活用（SNS）
 持っていない、使用していない



(6) 【複数選択OKです】あなたの家では、ケータイ、スマホ、インターネット等の使用について、きまりやルール、制限等がありますか？

- 時間制限 (何時以降は×、1日何時間まで 等々)
- 場所制限 (自分の部屋では×、リビングのみOK 等々)
- 目的制限 (EメールのみOK、アプリのDL× 等々)
- 相手制限 (親との連絡のみ 等々)
- その他のルールやきまり
- 特にきまりやルールはない

(7) 【ひとつだけ選んで下さい】あなたのスマホや携帯電話には、有害なサイトにつながらないようにするためのフィルタリングがかかっていますか？

- かかっている
- かかっていない
- わからない
- もっていない

(8) 【ひとつだけ選んで下さい】LINEやツイッター等自分のSNSやブログ、プロフ等で情報を発信していますか？

- 発信している
- 発信していない

(9) 【ひとつだけ選んで下さい】あなたはネットを介して、実際に会ったことのない友達がありますか？

- 0人 (いない)
- 1～5人いる
- 6～10人いる
- 11人以上いる

(10) 【ひとつだけ選んで下さい】あなたがケータイやスマホ等を1日に使う時間はどれくらいか教えて下さい。

- まったく使わない
- 30分以内
- 30分～1時間
- 1時間～2時間
- 2時間以上

(11) 【複数選択OKです】スマホや携帯電話等の利用で、今までに困ったことがあれば教えて下さい。

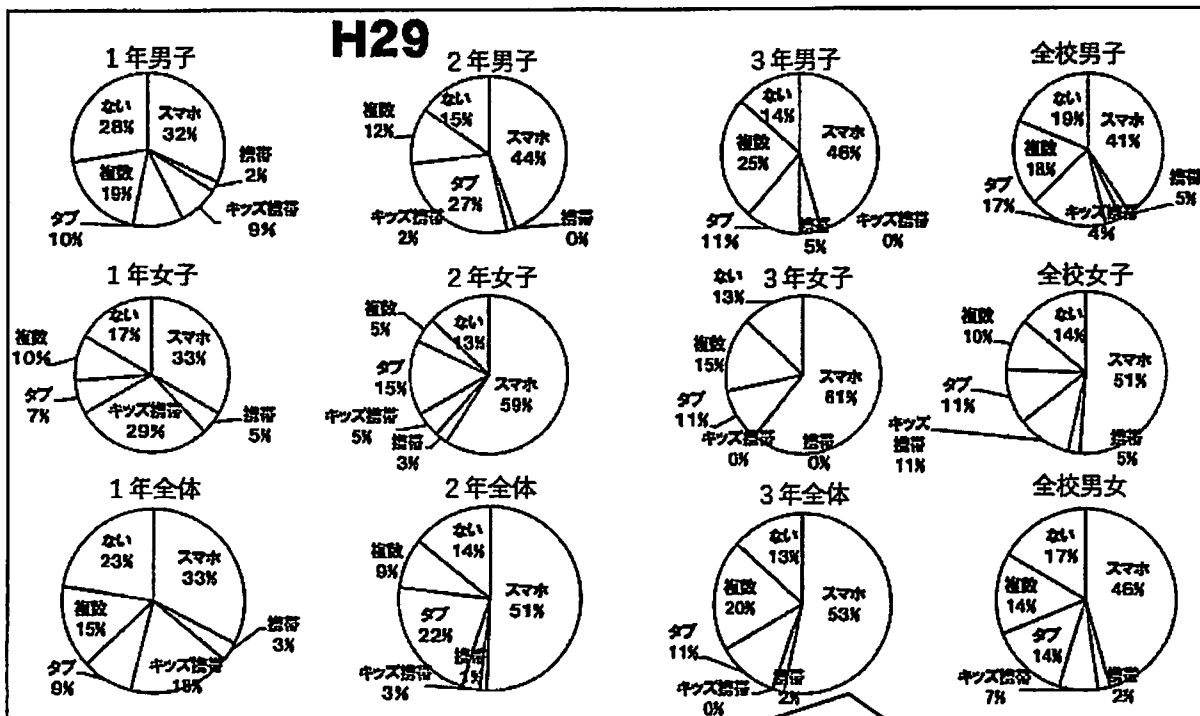
- 遅くまでやっていて寝不足になった
- 早く返信しなければと気になってしまう
- ついいいじってしまい、勉強に集中できなくなった
- 悪口を書かれました
- 気持ちが上向き伝わらずトラブルになった
- グループから外したり外されたりでトラブルになった
- 写真を勝手にアップされてしまった
- 自分の個人情報もちれてしまった
- 迷惑メールが来るようになった
- 使い過ぎで請求が高額になってしまった
- 今までに困ったことは一切ない

(12) 【ひとつだけ選んで下さい】スマホや携帯電話について、一番近い考え方を教えて下さい。

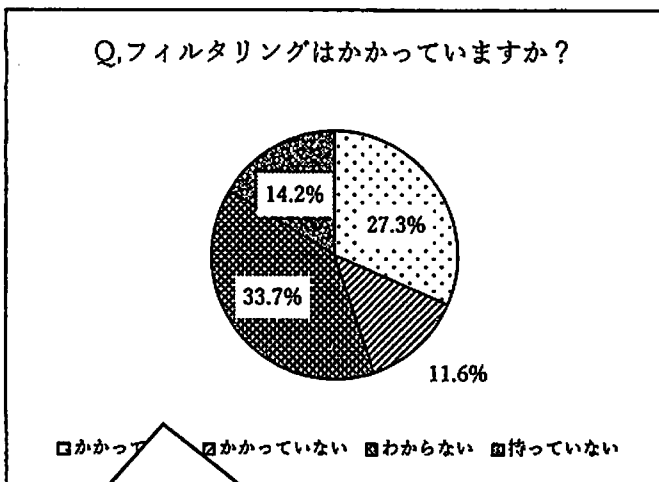
- ないと非常に不安
- あったほうが良い
- なければないで良い
- 必要ない

○情報関係 H29 アンケート結果から

Q,あなたは、自分用の携帯電話・スマートフォン等を持っていますか？



- ・学年が上がるにつれて情報機器を持っている生徒の割合は増加しています。
- ・どの学年も男子より女子のほうが割合が高い傾向にあります。
- ・3年女子は、61%がスマホを所持しているようです。



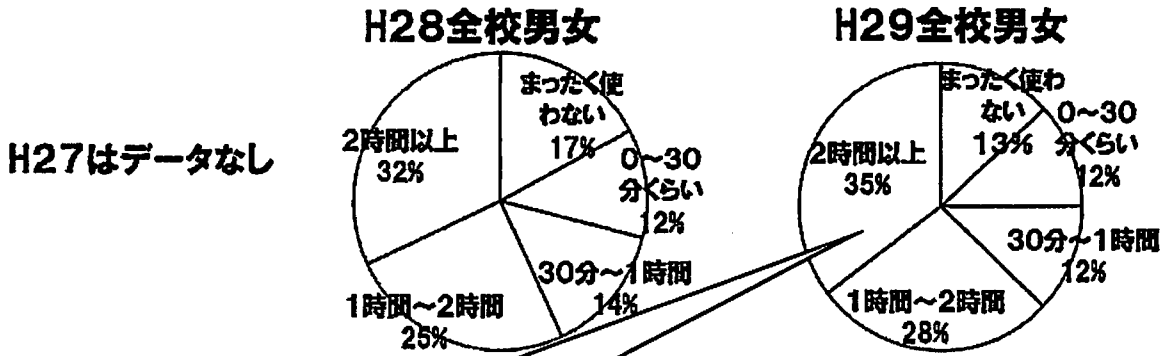
- ・「かかっていない」と答えた生徒が11.6%。
- ・「わからない」と答えた生徒が33.7%。

情報機器利用項目の変化

	H27	H28	H29
動画	41.3%	33.5%	45.9%
買い物	12.4%	11.9%	13.7%
ライン	54.1%	61.3%	66.7%
ツイッター	20.5%	24.2%	25.9%
フェイスブック		6.7%	9.3%
インスタ		6.3%	7.8%

SNSの利用は、確実に増えていっています。

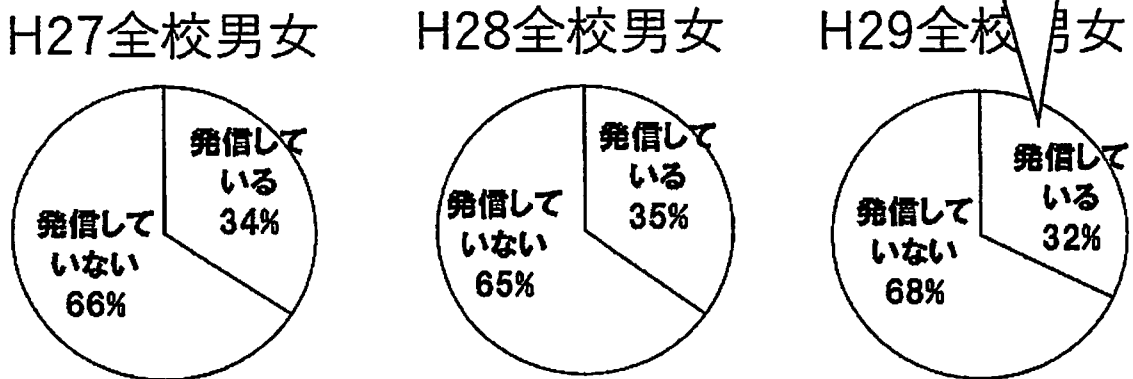
Q,一日に情報機器をどれくらい使用しますか？



全校生徒の35%が1日あたり「2時間以上」の使用をしています。

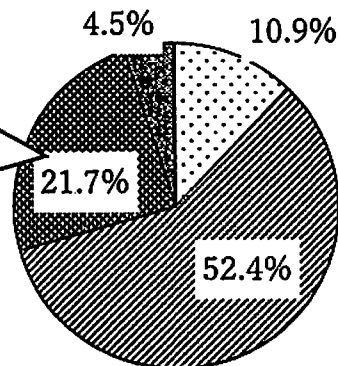
全校の32%が発信しています。性別で見ると女子のほうが多い傾向です。

Q,自分で情報を発信していますか？



Q,携帯電話等に関して近い考えは？

「なくても良い」「必要ない」と考える生徒も26.2%（全校生徒の1/4以上）います。「みんな欲しがっている」は誤りと言えます。













□ ないと不安 ▨ あったほうが良い ▩ なくても良い ■ 必要ない

<全校集会での発表内容例>

○生活委員会 冬場の服装について

スライド作成は教員が行い、生徒をモデルにした写真を使用しました。話の細かい内容は生徒が考えています。

生活委員会の 発表内容 冬場の服装について 発表内容 発表内容	LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3		
服装 暖かさを保つ				LEVEL 4	
ツッコんで下さい					暖かいけど 合身がきる 防寒対策を 考えよう！



○生活委員会 「あいさつ」について

部活動の協力を得て、「あいさつ」の大切さを訴えました。生徒が各部活動中の「あいさつ」の様子を動画で撮影し、その後、各部長に部活動で考える「良いあいさつ」や「あいさつ」がなぜ大切かということインタビューした様子を撮影しました。企画&撮影は生徒が、スライド作成は教員が行いました。

生活委員会 部会長 部会長 部会長	皮革部	陸上部	バスケ部	剣道部	野球部
----------------------------	-----	-----	------	-----	-----

部長会に生活委員長が参加し、趣旨を話し協力をお願いしたところ、多くの部活動が協力を申し出てきました。

各部の動画 「あいさつ」 について					
-------------------------	---	---	--	---	---





生活委員が撮影した活動中の「あいさつ」の様子の動画です。

部活動での 「あいさつ」 のとく					
------------------------	---	---	--	---	---

各部長のインタビュー動画です。

○学習委員会 自学ノートキャンペーンについて

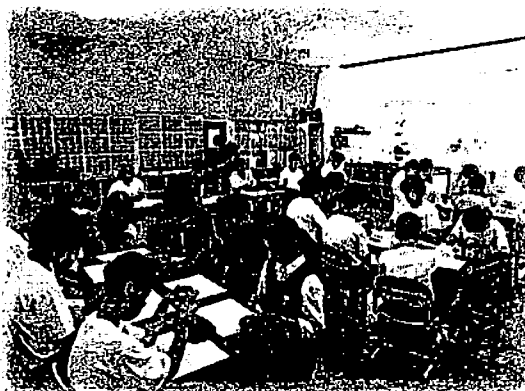
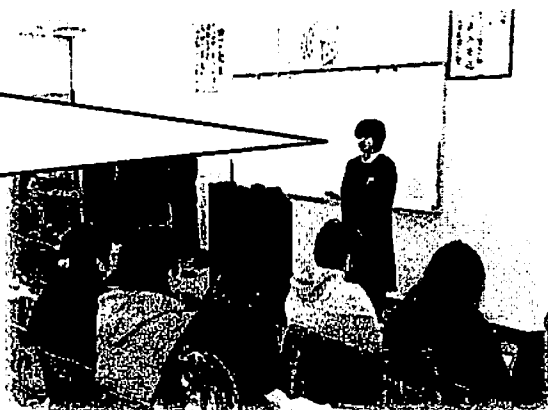
キャンペーン前には、趣旨説明や昨年の実態を説明し、キャンペーン終了後には各学級のとりくみの報告を行いました。スライド作成は全て生徒が行いました。

<p>学習委員会</p> <p>委員長 3-1 小林 悠哉 副委員長 3-2 山本 平哉</p>		<p>めざせ！ 自学一か月 600ページ！！</p>	<p>学習委員会</p> 	<p>学習委員会の報告</p> <p>4巻 2冊1冊 1.14ページ 5巻 1冊2冊 1.07ページ 6巻 1冊2冊 1.02ページ</p>																				
<p>キャンペーン前です。</p>		<p>良い自学ノートの見本を紹介してます</p>		<p>キャンペーン後です。</p>																				
<p>学習委員会の仕事内容</p> <p>1. 自学ノートの配布 2. 配布後、互換性を高める 3. 自学ノートの回収 4. 回収後の整理</p>	<p>昨年の成績【一年生】</p> 	<p>国語コンペング</p> <table border="1"> <tr><td>1-1</td><td>2-1</td><td>3-1</td><td>4-1</td></tr> <tr><td>1-2</td><td>2-2</td><td>3-2</td><td>4-2</td></tr> <tr><td>1-3</td><td>2-3</td><td>3-3</td><td>4-3</td></tr> <tr><td>1-4</td><td>2-4</td><td>3-4</td><td>4-4</td></tr> <tr><td>1-5</td><td>2-5</td><td>3-5</td><td>4-5</td></tr> </table>	1-1	2-1	3-1	4-1	1-2	2-2	3-2	4-2	1-3	2-3	3-3	4-3	1-4	2-4	3-4	4-4	1-5	2-5	3-5	4-5	<p>自学ノートキャンペーンの感想</p> <p>自分たちが頑張った結果、 自分たちの努力が認められ、 自分たちの努力が認められ、 自分たちの努力が認められ、 自分たちの努力が認められ、 自分たちの努力が認められ、</p>	<p>学習委員会の報告</p> <p>1巻 1冊1冊 2.20ページ 2巻 2冊2冊 2.09ページ 3巻 2冊2冊 1.20ページ</p>
1-1	2-1	3-1	4-1																					
1-2	2-2	3-2	4-2																					
1-3	2-3	3-3	4-3																					
1-4	2-4	3-4	4-4																					
1-5	2-5	3-5	4-5																					
<p>自学のやり方</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 自学ノートの配布 2. 配布後、互換性を高める 3. 自学ノートの回収 4. 回収後の整理 	<p>昨年の成績【二年生】</p> 	<p>めざせ！ 四書年間 25冊以上！！</p>	<p>学習委員会の報告</p> <p>7巻 2冊1冊 0.95ページ 8巻 2冊2冊 0.65ページ 9巻 2冊2冊 0.22ページ</p>	<p>ご協力ありがとうございました</p> <p>次回は9月に実施予定です。</p>																				

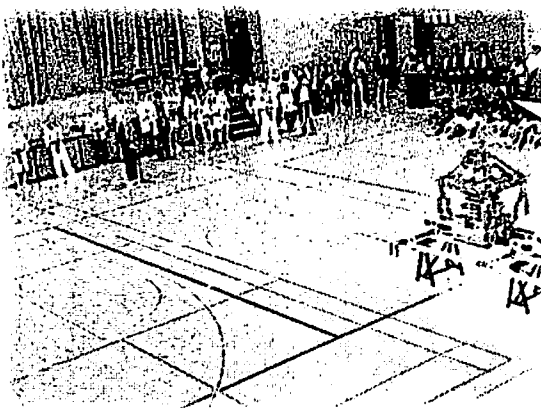
<生徒の自主的な活動の高まり>

その他、生徒会活動や部活動でも「自分たちで」学校をつくるという意識で生徒を支援したり、生徒が活動する様子が様々な場面で見られるようになってきました。

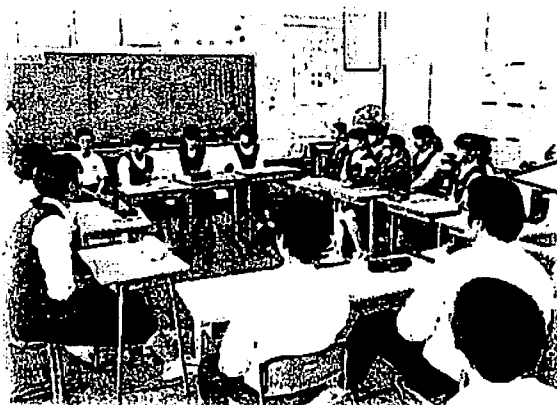
新入生保護者説明会にて。新入生の保護者の方に向けて、生徒会長から生徒会活動の取り組みと、作成中の「上中行動宣言」について説明をしました。また、いじめをなくすためにも保護者の協力をお願いしました。



全校評議会の様子です。教員は、生徒会執行部による運営を見守るような支援をしています。議長を3学年評議委員が担当し、公正な形にしています。



地域の方に協力を頂く「御輿集会」も、生徒会執行部が中心となって運営します。当日は、半纏の準備等も時間を考えて滞りなく行いました。



部長会の様子です。各部活動からの提案が話し合われることもあります。部活動掲示板の有効活用について発案があり、部長会から教員へのお願いがありました。

<行動宣言話し合い関係>

○授業の指導案

1 目的

- ・子どもたちが、スマホやネットの問題と向き合い、きちんと考えて話し合い現実的な行動宣言を立てる。

2 大まかな流れ

- ① 各学級毎に、スマホやネットに関しての、班での話し合いをし、各班ごとに、実現可能な行動宣言を話し合う。
- ② 各学級の各班から上がってきたものを、生徒会本部 or 生活委員で揉んで、学校全体でいくつかに絞る（実際に目標とするため、1つか2つでOK、多くとも3つか?）。
- ③ 生徒昇降口前で、パブリックコメントを募集したり、各学級で学級会の議題にしたりして、意見を広く求める。
- ④ 全評で提案し、可決。
- ⑤ 生徒会からという形で、新入生保護者会等で、保護者にも通知。

3 各クラスでの進行（佐倉市いじめ防止サミットを参考）

時間	項目	内容	支援
00:00	導入 (5分)	○本日の活動の説明	○スマホ等の使い方について考えよう的な。スマホを持っている人数を聞いたり、何に使っているか聞いたり、実態に応じて。
00:05	【発問①】 (10分)	○スマートフォンやインターネットを使うことによる、良い点と問題点について話し合いましょう。 ・全員が付箋に自分の考えを書くように促す。 ・模造紙に付箋を貼りながら、同じものは重ねたり、グルーピングしたりする。 <予想される答え> ○良い点 ・たくさんの情報を入手できる。 ・メールやラインで友だちと連絡がとれる。 ・調べたいことをすぐに調べることができる。 ○問題点・困っていること・今までに困ったこと等	○クラスに付箋3束ずつ配付。 ○できるだけ、日常生活の中で、感じていることを素直に出させるようにする。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ラインやメールでトラブルが起きる。 ・ゲームで課金のトラブルが起きる。 ・遅くまで使って、寝不足になる。 ・既読スルーで険悪な雰囲気になる。等 	
00:15	【発問②】 (10分)	<p>○問題点に対する対策をみんなで考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題点の中で1～3つをとりあげ、それぞれの問題に対する対策について、話し合った内容を対策の欄に書き込む。 <p><予想される答え></p> <p>○対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちとラインのルールを作る。 ・課金ゲームは利用しない。 ・スマホを使う時間を決める。 ・親に預ける。 等 	○無理に3つでなくとも良い。最低でも1つずつは話し合えるとGOOD。
00:25	【資料提示】 (5分)	<p>上志津中の生徒の実態から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅くまでやっていて寝る時間が遅くなる。45人 ・早く返信しなければと気になってしかたなくなる。45人 ・ついいじってしまい、勉強に集中できなくなる。68人 ・悪口を書き込まれた。8人 ・気持ちが上手く伝わらずトラブル。17人 ・グループ外し等。12人 ・写真を勝手にアップされた。20人 ・個人情報がもれた。5人 ・迷惑メールがくるようになった。21人 ・使い過ぎで請求が高額になった。4人 	<p>○資料を提示 (H28 データ)</p>
00:30	【発問③】 (10分)	<p>○話し合った問題点や上中の実態から、インターネットやスマートフォンの使い方に関する行動宣言を班のみんなで考えましょう。</p> <p>(行動宣言は、「〇〇します。」の形でつくりよう。)</p> <p><予想される行動宣言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人を特定する情報はインターネット 	○「使い方に気を付ける」等の観念的なもの、「スマホ一切禁止」等の自分たちが不可能な宣言等は×。具体的な行動であり、効果があり、現実的に折り合い

		<p>に載せないようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族とスマホのルールを決めます。 ・課金ゲームは利用しないようにします。 ・危険なサイトに接続しないようにします。 ・相手の気持ちに立って、インターネットを使用します。 ・夜10時以降はスマートフォンを保護者に預けるようにします。 ・友だちからの返信がなくてもイライラしないようにします。 	<p>がつけられる線でもリアルに「宣言」をつくらせる。</p> <p>※学級担任の先生方のフォローをお願いします。</p> <p>※「～します」という形の宣言に。</p>
00:40	<発表> (10分)	<p>○各班で話し合った行動宣言を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模造紙を黒板等に貼り、話し合った内容について、各班から発表する。 <p>○この「宣言」を学校全体で集め、生徒会組織で話し合っていくことを伝える。</p>	<p>○学級の実態によって、前に出たり出なかつたりはお任せで。</p>

○話し合い用模造紙

スマホ・ケータイ・ネット等の使い方について考えよう

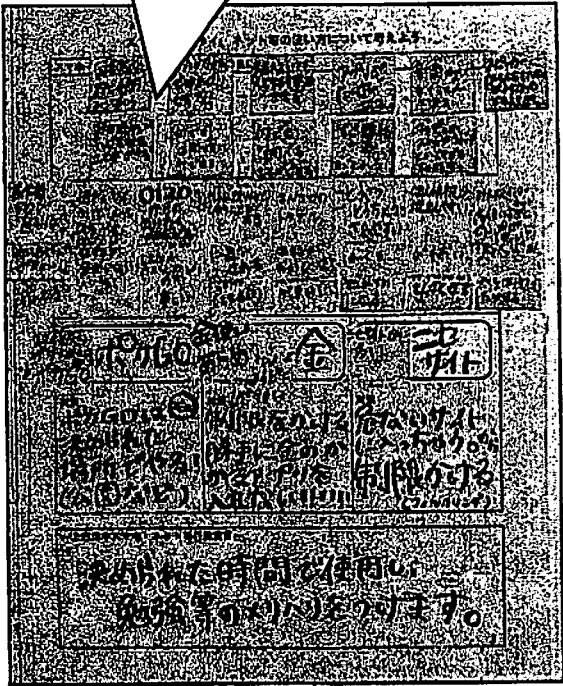
スマホ・ケータイ・インターネット等の良い点

スマホ・ケータイ・インターネット等の悪い点

対策	対策	対策

～上巻中スマホ・ネット等行動宣言～

一人一人の意見を付箋に書いて貼っていきました。



佐倉市教育委員会主催の「いじめ防止子どもサミット」で使用した資料を参考に作成しました。

<ルールをつくろう系>

- ・ルールを決めて信じがたい情報は確認して正しく使います。
- ・ルールを決める。 ・ルールを決めて安全に使う。 etc…

<勉強頑張ろう系>

- ・勉強する時は電源を切り、手の届かないところに置くようにします。
- ・勉強する時は電源をOFFにします。 ・勉強の時等は見える場所に置かないようにします。
- ・私たちは勉強の時間をけすらずにスマホを使います。 etc…

<トラブル回避系>

- ・トラブルが起こらないように、大事なことは会って話すようにします。
- ・ネット上には、悪口を書き込みません。 ・不審なURLをタッチしない。
- ・慎重に操作し、止まって使用する。 etc…

<複数組み合わせ系>

- ・使う時間を決め、個人が分かる投稿はせず危険だと思うサイトには入らないようにします。
- ・決められた時間で使用し勉強等のメリハリをつけます。
- ・ネットを使う時間を決め、ネット内での知らない人とは関わらないようにします。
- ・相手の気持ちを考え個人情報に注意しスマホを有効活用します。 etc…

○生徒会執行部と生徒会担当教員とのやりとり

T :スマホの使い方について各クラスから意見が出たけど、せっかくだから学校としても、ルールを決めてみるのも良いよね。

SA:えっ?つくりたいです!「いじめゼロ宣言」みたいなものを。

T :じゃあ、生徒会としてつくってみれば?できれば、「いじめゼロ宣言」みたいに生徒会として生徒総会とかでまとめられると素敵だよ。先生も協力するよ。

～ 中略 ～

SA :じゃあ、スマホの良い点からまとめよう。

SB :連絡がとれるところっていう意見が多かったね。

SC :調べ物ができるっていう意見も多いね。

SD :ゲームができるっていうのも少なくなかったよ。

T :他の意見もあるけど、あまり多くなってしまうと焦点がぶれてしまう可能性があるから、このくらいにしておこう。



～ 中略 ～

SA :はい。じゃあ、悪い点は?

SB :SNSの既読スルー関係とかが多かったよね。

SC :文だけだと感情が伝わりにくい!っていうのもあったね。

SD :ゲームとかだと、スマホをもっていない人は、そのゲームの話とかはできないって言う話もしてたなあ。

SE :SNSでも同じことが言えると思う。

SB :全て仲間外れが起きる可能性があるから、いじめにつながるかも?

T :「いじめゼロ宣言」ともつながってくるかもね。

SA :いいね。他は?

SD :SNSとかメッセージって自分の思い込みってあるよね?

SF :あるある。

SA :じゃあ、行動宣言も、各クラスの意見や、今話し合ったことをもとにしてまとめていこう。

～ 中略 ～

SA :「自分の考えで決めつけずに相手の気持ちを考えて使用します」でいこう。そのための三箇条として、「1, 広い心で見る。2, 楽に使う。3, 後日相手に聞いてみる」としよう。

T :では、「パブリックコメント」という方法を提案するね。今話し合った結果を昇降口に張り出して、全校生徒にもう一度意見をもらうという方法なんだけど、やってみる?

SA :是非やってみたいです!

～ 中略 (パブリックコメント実施中) ～

T : みんなから出た意見をまとめられる？

SA : 1つにまとめるのは難しそうです。せっかく色々な意見をもらったので、宣言の内容を少し多くしても大丈夫ですか？

T : そうだね。せっかくもらった貴重な意見に答えたいというのは素晴らしいね。じゃあ、答えてあげたらどう？

SB : 時間を決めて使うっていう意見も多かったよ。これを行動宣言に入れても良い気がするなあ。

SE : 私もそう思う。

SA : よし、入れよう！

SF : 「コミュニケーション」関係も多かったので、「コミュニケーション」っていう言葉も使いたいな。

SA : じゃあ、ちょっとこれで新しい行動宣言を考えてみよう。

～ 中略 ～

SA : まとめると、「1, 広い心で使う」、「2, 楽に使う」、「3, 時間を決めて使う」、「4, 直接的なコミュニケーションを大切にする」、「5, 後日相手に聞いてみる」の五箇条になりました。(パチパチパチパチ！)

T : なるほど。生徒の立場としては、5つのルールは守れそう？多くない？一つ一つが軽くない？

SB : う～ん。正直難しいかもしれません。

SA : もう一度考えてみようか。

～ 中略 ～

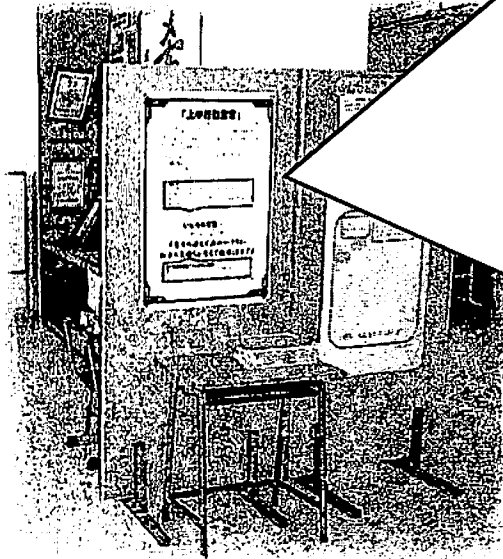
SA : 言葉の意味合いが似ているものをまとめてみました。「1, 広い心で使う」、「2, 時間を決めて使う」、「3, 表情を見て会話をすることを大切にする」の三箇条になりました。

T : よくまとめたね。3つだったらルールを守れそうかな？

SA : 大丈夫だと思います。

T : じゃあ、この三箇条を生徒会としての行動宣言として、生徒総会で提案していこう。

SA : はい！



執行部の上中行動宣言原案です。「いじめ」に関しての色が強く出ています。

昇降口前に掲示されました。

「上中行動宣言」

上中では、「インターネット活用活動～いじめゼロ宣言～」という活動をしていました。ですが、現状を見てみると、インターネットを「なくした人」「こわした人」などがたくさんいて、活動の意味を理解できていない状況です。

生徒会本部では、間違ったインターネットの使用方法もいじめの原因の一つと考え、「いじめゼロ宣言」につづく新たな上中宣言をかがげようと活動を始めました。

◎インターネット・スマートフォンの使い方について

<良い点>

- ・すぐに調べ物ができる。
- ・すぐに連絡がとれる。
- ・ゲームができる。

<悪い点>

- ・インターネットから来る共通の話題に乗り遅れる。
- ・SNSでの仲間外れが起こる。
- ・文字でしか伝えられないため、悪い方向への勘違いが起こる。
- ・既読スルーが起こる

これらの悪い点は

いじめの原因となる

「自分の考えで決めつけずに
相手の気持ちを考えて使います！」

この宣言を達成するための三箇条

1. 広く見ると
2. 狭く見ると
3. 後日相手に聞いてみる

賛成意見

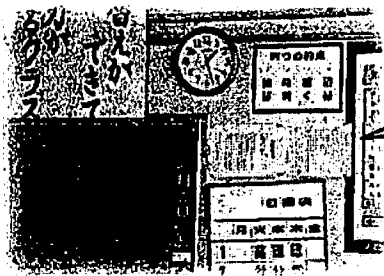
- ・私は賛成します。きまりを作って、少しでもいじめをなくせればいいと思ったからです！
- ・賛成です。相手の気持ちを考えて広い心をもって使えばいじめをなくせると思ったからです。

反対意見

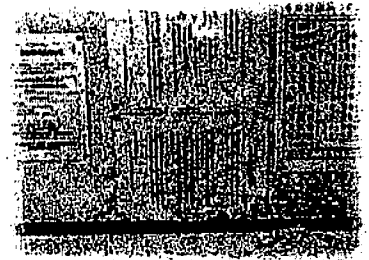
- ・私は反対です。ケータイを使わずに直接コミュニケーションをとれば良いと思ったからです。

<上中行動宣言採択後>

○教室掲示



各学級にて掲示されています。



一緒に掲示されているのは「いじめゼロ宣言」です。



○生徒指導だよりでのお知らせ

保護者の方にも、「上中行動宣言」の経緯や、話し合いの様子等を「生徒指導だより」でお知らせしています。